



大阪市立 鶴橋小学校

校長名 近藤 英幸

所在地 〒544-0034 大阪市生野区桃谷2-20-32

電話 06-6731-2278 FAX 06-6731-1797

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671482>



鶴橋小学校は令和8年4月に北鶴橋小学校との再編を予定しています。詳しくは生野区役所ホームページをご覧ください。⇒



主な学校行事

4月	入学式 対面式
5月	春の遠足 運動会
6月	体力・運動能力テスト プール開き
7月	プール納め 期末個人懇談会
8月	
9月	林間学習 全校遠足
10月	修学旅行
11月	卒業遠足
12月	期末個人懇談会
1月	
2月	入学説明会
3月	卒業式 修了式

教育目標

豊かな心、確かな学力をもち、たくましく生きる力を身につけた子どもを育てる

めざす子ども像

- めあてをもち、進んで学ぶ子ども
- 自分を大切に、仲間を大切にする子ども
- ちがいを認め、よさを認め合う子ども
- きまりを守り安全な学校生活を送る子ども
- 礼儀正しく丁寧な言葉遣いや行動ができる子ども
- 楽しく運動に親しむ子ども

令和4年度全国学力・学習状況調査

大阪市教育委員会の方針では、調査対象学年が単学級の場合は公表しないことができるとされていますが、生野区では単学級が継続する場合のみ平均正答率は公表しないとしています。

● 結果概要

- 平均正答率では、国語科・算数科・理科すべてにおいて全国平均を上回る結果となった。
- 国語科では全国平均を0.4P、大阪府平均を2P上回った。領域では、全国平均に対し、昨年度課題として挙げた「話すこと・聞くこと」が10.1P上回り、大きく躍進した。対して、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国・大阪府平均に及ばずと課題が見られた。
- 算数科は全国平均を5.8P、大阪府平均を6P上回った。領域では「データの活用」のみが全国・大阪府平均より僅かに及ばずであった。
- 理科では全国平均を0.7P、大阪府平均を4P上回った。全国平均を若干下回った「エネルギー」及び「生命」を柱とする領域を課題と捉え、今後対策を講じていく。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

【成果】

全国・大阪市平均に対し、特に算数科（変化と関係の領域）や理科（『地球』を柱とする領域）において成果がみられた。本校では「主体的・対話的で深い学びの推進」を目指し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に注力している。課題を捉えやすくする「視覚化」、日常の経験と学びを結び付け思考過程をそろえる「共有化」、問いの「焦点化」を意識した学習の成果が現れたものとする。

【課題】

平均無回答率は国語科・算数科においては全国平均をやや下回った。個別に課題を有する児童について、国語科（言葉の特徴や使い方に関する事項）・算数科（数と計算および図形の領域）における課題がみられる。大阪市教育振興基本計画における【誰一人取り残さない学力の向上】に向けて、今年度、「指導の個別化」や児童の「学習の個性化」を保障した取り組みを、全教員にて実施しているところである。

【アクションプラン】

- 児童の自主学習の習慣の確立に向け、「常に疑うことなく、信じすぎることなく、常に自分で確かめよう」とする姿勢をもつ子どもの育成を目指す。昨年度に引き続き、研究主題「思考力・判断力・表現力をはぐくむ国語科・算数科～互いの考えを伝えあい、考えることを楽しむ子どもの育成～」により、主体的・対話的で深い学びの実現に繋がる指導法の探求と、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習づくりの2つを柱として研究を進める。
- 大阪市教育振興基本計画の重点目標に迫るため、学校運営の計画を着実に実施する。また、学校協議会を柱として、地域と強調した取り組みを進めていく。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

大阪市教育委員会の方針では、調査対象学年が単学級の場合は公表しないことができるとされていますが、生野区では単学級が継続する場合のみ種目別平均値は公表しないとしています。

● 結果の概要

本校は運営に関する計画において、児童の体力・運動能力向上に向けて、楽しく体を動かす校内行事の取り組みをすすめている。具体的にはなわとび週間や学年対抗大縄大会などの校内行事の実施を行った結果、全国・大阪市平均

を大きく下回っていた20メートルシャトルランにおいて、男子は全国平均以上、女子も大阪市平均を超える結果となった。体力合計点では男女とも全国平均を超えている。また、質問調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」

に対する最も肯定的な回答の割合は、男女とも全国平均を上回った。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合についても、男女とも全国平均以下という結果となった。1年を通じて児童の発達段階に応じたゲーム的イベントを企画立案し、楽しみながら運動を進める取り組みを今後も実施していく。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

今年度は取り組みとしては次の2点を重点的に行った。1つ目は、体育の学習においてサーキットトレーニングを取り入れたり、50メートル走のラインを常

に引いている状態にしたりと、運動しやすい環境づくりに注力したこと。併せて、運動につながる基本的な動きに関する教員向けの校内研修会を年1回以上実施したこと。2つ目は、児童の発達段階に応じたゲーム性やイベント性を加味した体育的行事を実施したこと。それらの重点的な取り組みの結果、体力合計点も平日の平均運動時間も全国平均を下回っていたものが、男女とも全国平均を上回る結果を出している。しかしながら、今年度は休み時間にけがをした児童の数が非常に多かったことから、今後は身体の可動域を広げることを目的とした運動についても意識的に取り組み、実際の生活面に即した身体づくりについて行っていく。

校長先生のメッセージ

鶴橋小学校の子どもは元気で明るく、優しい子どもがたくさん通う学校です。これからも保護者、地域のみなさんとともに、子どもたちの安心・安全を保障し、楽しみながら学習ができる笑顔あふれる学校にしていきたいと、日々最善の教育活動を進めています。そのために、すべての教員・職員が力を合わせて、全力で鶴橋小学校を支えてくれています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

本年度は、言語活動や体験活動を通して、学びを深め、友達と交流しながら、児童が「わかった、できた」と実感を伴うような活動の一層の充実を図り、児童の学力及び自己肯定感の向上につなげる。併せて、研究主題を「豊かな表現力を育てるための国語科指導～授業のユニバーサルデザイン化を通して」とし、自分たちで学びを深め、高めあう学習文化「鶴橋ブランド」の形成や授業のユニバーサルデザイン化（視覚化・焦点化・共有化）に取り組む。改めて、指導者が学習規律を子どもたちにしっかりと伝え確認し、児童がそのよさを実感できる学習環境を作る。また、言語活動を中心に、多様な方法で自分の考えを表現する活動を通して、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図る。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。
- 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり（規則）を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
- 令和5年度における児童アンケートで、「自分には良いところがある」と答える児童の割合を87%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を39%以上にする。
- 令和5年度小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母体集団と比較し、いずれの学年も令和4年度から0.5ポイント減少させる。
- 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を前年度より0.01ポイント向上させる。（※全国平均を1とした時の割合）

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業にデジタル教材を活用した自学自習を組み込み、授業時間外（家庭学習も含める）の自学自習の習慣化を図る。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

家庭・地域等との連携

■ 鶴橋こども見まもり隊

本校における見まもり隊は、登下校の見守りをはじめ、校外におけるあらゆる機会を通じて子どもたちを見守り、明るい一声をかけてくださる等、子どもたちの健やかな成長に欠かすことのできない方々です。月1回本校にて行われる情報交換会においては毎回見まもり隊隊員の方がご参加くださり、子どもの様子及び生野区内の安全に係る情報の交換を行うなど、子どもの安全を第一に、優しく温かく学校を支えてくださる心強い存在です。



特色ある学習活動

■ ワクニコ班によるたてわり活動

本校では子どもたちが「ワクワク・ニコニコ」しながら交流できる、互いに顔の見える関係づくりを目指し、1年生から6年生までによる異学年交流に力を入れている。

毎週木曜日の児童集会では毎回たてわり班活動を取り入れることで、子どもたちの関係づくりを大切にしている。全校遠足におけるオリエンテーリング、及び遊びのお店を運営するグループとそれらのお店を見て回るグループに分かれて活動するつる子祭りでは、普段の活動で培ったチームワークを存分に発揮し、それぞれに役割をもって力を合わせて取り組む姿が見られる。

